



# 学校だより 1月号

石川小学校 学校教育目標  
育てます。「石川魂」

令和3年1月8日  
横浜市立石川小学校  
校長 寺園 淳

## あけましておめでとうございます

校長 寺園 淳

令和3年元旦。あたたかく、そして力強い日差しとともに太陽が昇ってきました。新年、明けましておめでとうございます。昨年は未曾有の一斉臨時休校から新年度がスタートしました。様々な教育活動が制限されましたが、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力により、石川小学校の子どもたちは明るく、健やかに学校生活を過ごすことができました。改めて感謝申し上げます。

本年度より取り組んでいる学校教育目標『石川魂』ですが、冬休み前に私たち教師で子どもたちの達成状況を検証してみました。3、4人のグループに分かれ、子どもの姿を思い浮かべながら話し合いました。

1 「最後まで粘り強く頑張る子」について

- 小さな目標を立てて、成功体験を積み重ねることが大切ではないか。
- 子どもたちは意識して取り組んでいる。

との意見が出されました。成功体験を積み重ねるためには、教師が意識して成長ぶりを認める、評価することが大切なのではないかと考えます。

2 「自分や友達の思いを大切に協働する子」について

- 異学年交流の場面で、子ども同士が協力することはできるようになってきた。
- 協働、すなわち目標を共有し、ともに力を合わせて活動するまでには至っていないのではないか。

また、思いを伝えるために国語の学習などで言葉の力をつけることが必要です。言葉の力を豊かにすることで、互いの思いを伝え合い、理解し合うことができます。さらに誰もが自分に自信をもち、自分の意見を発信できるようにしていきたいです。

3 「自分たちのまちを愛する子」について

- まち探検や総合的な学習の時間で、自分たちのまちを知ることから始まる。
- 見守り隊の方やおもいやりハウスの方などに、自分たちが大切にされていることに気付かせたい。

登校の様子を私が見たとき、見守り隊の方にしっかりと挨拶ができていない子どももまだまだ見られました。新型コロナウイルスの影響もあり、地域での学習が十分に行えなかったことも関係あるのかなと考えます。

このように『石川魂』1年目の成果は、子ども自身の頑張る姿が多く見られたことです。来年度に向けて残りの2つの柱が子どもの姿として現れるためにはどのようにしたらよいか、教育活動を振り返っていきます。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞお力添えをお願いいたします。